

江戶錦

吾書之庫

上卷

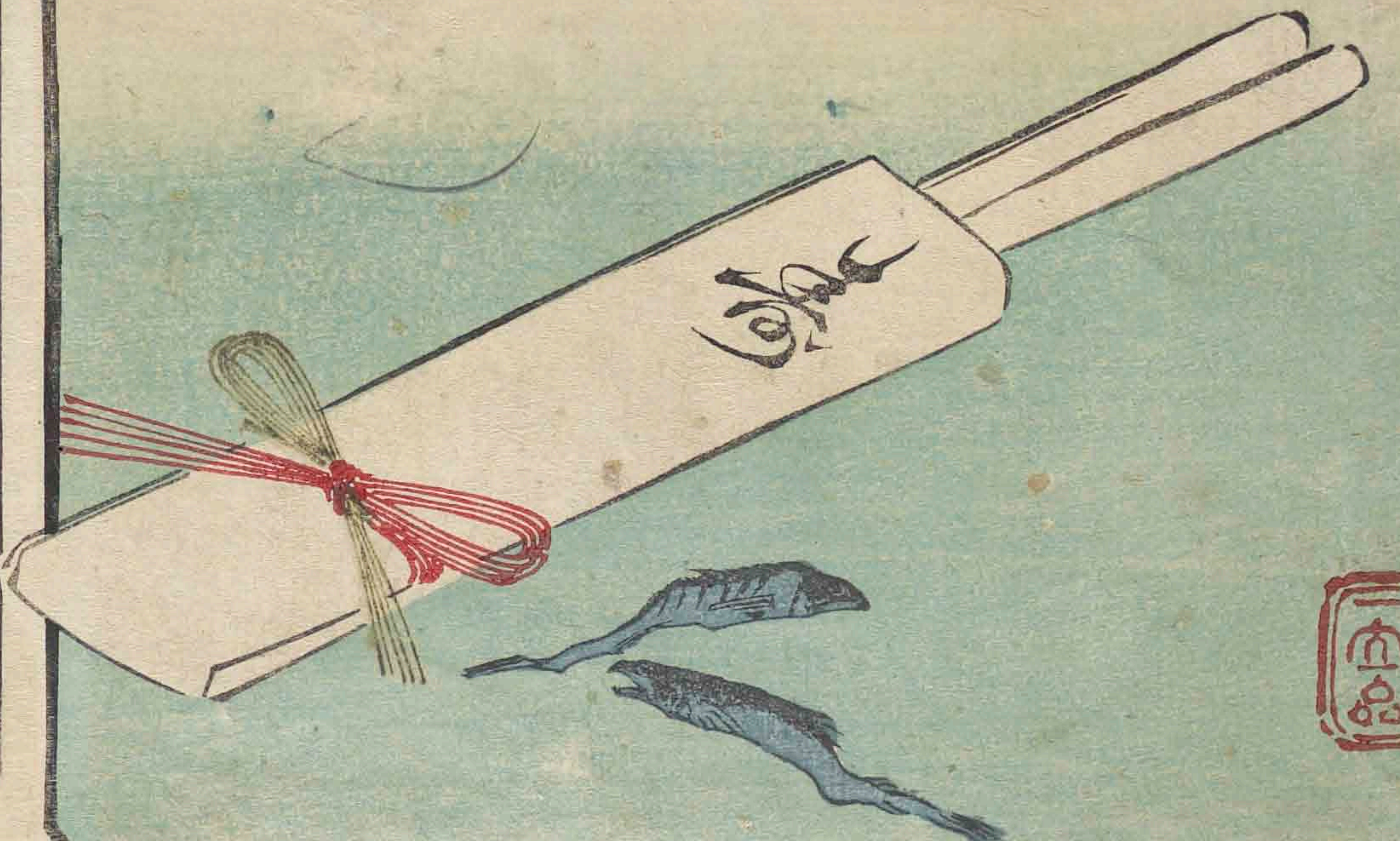


若書

ぬ

舞

ふ



夫女男の道は尊き度 神代の始より唯此道とて萬物
 生じ造化倍とて天地陰陽の理ありて後世いづまも夫婦和
 合を我目出度れば身はたえぬその家を治ち子孫長久の委
 那れをあり去ば古への名將勇士皆荒嬉いしく具足捲乃絵
 巻物と詠め強い目紙細くしる陣羽織水浣りつゝふを忘る四角
 たりし奥家老も貸本屋がむら小摺と護く懐中の眼鏡紙
 探る飲干店よりむ勒番見ぬありしと視る開くは春画本
 又かかの交合に伊勢屋の法用煮かけ鍋の肴油徳利と忘る
 或は市屋鋪伎の小僕大夏の月と抱へる女大とあきくさる



世話中思ひ返一物を帯へをまむ形なく。銭湯の陸湯にあり。ちと
 見へくく新造の肌をの背に赤度あかの鬼若おにわかを彫うども。氷こ氷こ際ま
 立た端たと夫おもを。あつおのく人ひと情なさけ貴き賤せんともかをさるなり。其その外ほか
 生うりものよ交まり成なせざるものねく。紅毛べにげとさるの駱駝らくだより。脊せ筋ぢん
 中なか出で合あ風かぜまき。姉い背せはかきひ替かり事ことなり。のち愛あいしき
 初はつ春はるの笑え冊さつ子しあれた。諸しよ君くん子し突つ出での封ふう切きとほりやと見
 あつて。妙めう子し紙し画えき。情じやう心しんの程ほどよと。誉ほめめを祇ただあまん。

成なりのちの春はる

阿あ足あ亭てい物もの成なり誌し















るきちのひ義。ちちと形死の後の。

幼童。ちちと形死の後の。

子ちちと形死の後の。

て。ちちと形死の後の。

ちちと形死の後の。

ら。ちちと形死の後の。

て。ちちと形死の後の。

り。ちちと形死の後の。

た。ちちと形死の後の。

な。ちちと形死の後の。

の。ちちと形死の後の。

と。ちちと形死の後の。

あ。ちちと形死の後の。

や。ちちと形死の後の。

ち。ちちと形死の後の。

ま。ちちと形死の後の。

と。ちちと形死の後の。

る。ちちと形死の後の。

る。ちちと形死の後の。

正連（まこと）の命（いのち）は一命（いちのみこと）より及（およ）ぶ病（びょう）がうらむ（わ）くお海（うみ）に
 命（いのち）がた（た）たりし時（とき）に命（いのち）を揚（あ）げし業（わざ）からせ
 寸（すん）の毛（け）も（も）た（た）し（し）ん（ん）や（や）ら（ら）ぬ（ぬ）に（に）し（し）る（る）
 ことば（ことば）を（を）も（も）た（た）す（す）と（と）い（い）ふ（ふ）と（と）い（い）ふ（ふ）
 事（こと）を（を）ん（ん）ど（ど）中（なかつ）に（に）四（よ）五（ご）日（ひ）と（と）経（た）し（し）て（て）病（びょう）氣（き）候（こう）
 二（に）業（わざ）し（し）ん（ん）と（と）い（い）ふ（ふ）店（たんでん）入（い）り（り）ま（ま）ら（ら）く（く）せ（せ）ぬ（ぬ）
 事（こと）を（を）後（ご）家（け）に（に）と（と）し（し）て（て）先（まづ）家（け）内（うち）に（に）あ（あ）せ（せ）
 うら（うら）お（お）し（し）ん（ん）と（と）い（い）ふ（ふ）病（びょう）に（に）再（また）發（はつ）して（して）から（から）
 病（びょう）に（に）お（お）し（し）ん（ん）と（と）い（い）ふ（ふ）性（せい）命（めい）に（に）お（お）し（し）ん（ん）と（と）い（い）ふ（ふ）
 事（こと）を（を）病（びょう）中（ちゆう）に（に）終（は）つ（つ）て（て）い（い）ふ（ふ）

ち（ち）と（と）い（い）ふ（ふ）事（こと）は（は）大（だい）に（に）二（に）三（さん）交（かう）に（に）は（は）
 起（おこ）す（す）度（たび）と（と）い（い）ふ（ふ）事（こと）は（は）外（がい）に（に）
 の（の）か（か）し（し）ひ（ひ）と（と）い（い）ふ（ふ）事（こと）は（は）時（とき）に（に）後（ご）家（け）に（に）
 の（の）か（か）し（し）ひ（ひ）と（と）い（い）ふ（ふ）事（こと）は（は）日（ひ）に（に）お（お）し（し）ん（ん）と（と）い（い）ふ（ふ）
 の（の）か（か）し（し）ひ（ひ）と（と）い（い）ふ（ふ）事（こと）は（は）扱（さ）つ（つ）て（て）い（い）ふ（ふ）
 病（びょう）氣（き）候（こう）に（に）お（お）し（し）ん（ん）と（と）い（い）ふ（ふ）
 事（こと）を（を）毎（まい）度（たび）に（に）お（お）し（し）ん（ん）と（と）い（い）ふ（ふ）
 事（こと）を（を）法（ほう）に（に）お（お）し（し）ん（ん）と（と）い（い）ふ（ふ）
 事（こと）を（を）法（ほう）に（に）お（お）し（し）ん（ん）と（と）い（い）ふ（ふ）
 事（こと）を（を）法（ほう）に（に）お（お）し（し）ん（ん）と（と）い（い）ふ（ふ）
 事（こと）を（を）法（ほう）に（に）お（お）し（し）ん（ん）と（と）い（い）ふ（ふ）

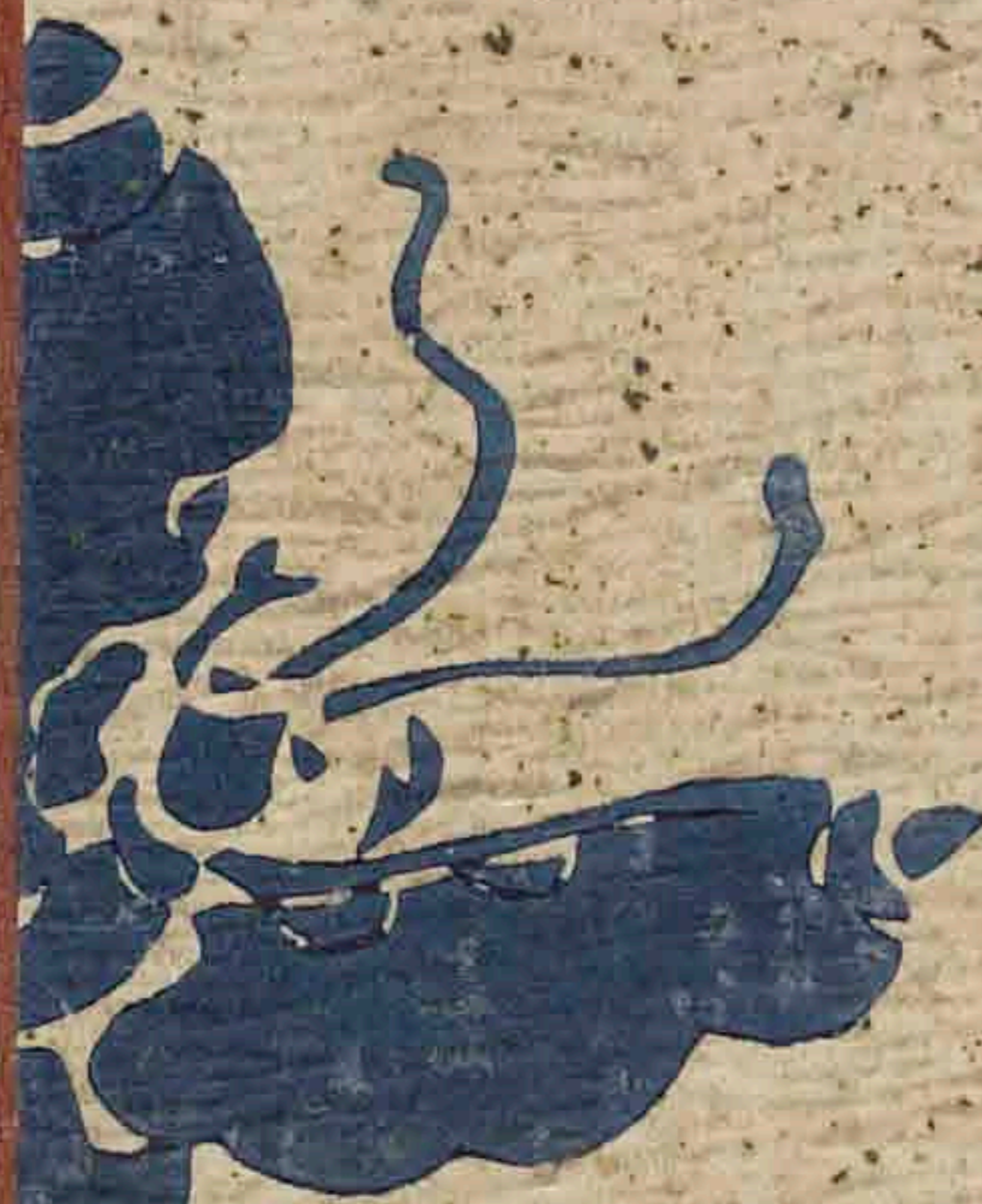
了らざる家解もれ。ほめかへる代も多
く。ぼろりせすれ。おんまの為もろろ。幼少
子^この爲^{ため}後^ご人^{ひと}も。女^{ぢやう}よの。治^ちま^ま人^{ひと}便^{べん}
小^こ治^{ぢやう}ま^まじ^じる。な^なの^の人^{ひと}が^が以^いて^て右^{みぎ}の^のさ^さん^{さん}ぢ^ぢ
り^り余^{いめち}か^から^らの^の事^{こと}を^を事^{こと}に^にし^しん^ん
ま^まら^ら家^か外^{がい}の^の人^{ひと}を^をか^かく^く海^{うみ}に^にお^おく^く
く^く幸^{さい}ふ^ふく^くの^のあ^あの^のま^ま。私^{わたくし}才^{さい}よ^よは^はは^は
下^{くだ}さ^さわ^わさ^さし^しる^るよ^よち^ちの^のま^まい^いお^おれ^れま^まら^ら
せ^せ外^{がい}の^の身^みに^に余^{あま}の^の事^{こと}を^をか^かく^く海^{うみ}に^にお^おく^く
と^とよ^よく^くの^の事^{こと}を^をか^かく^く海^{うみ}に^にお^おく^く

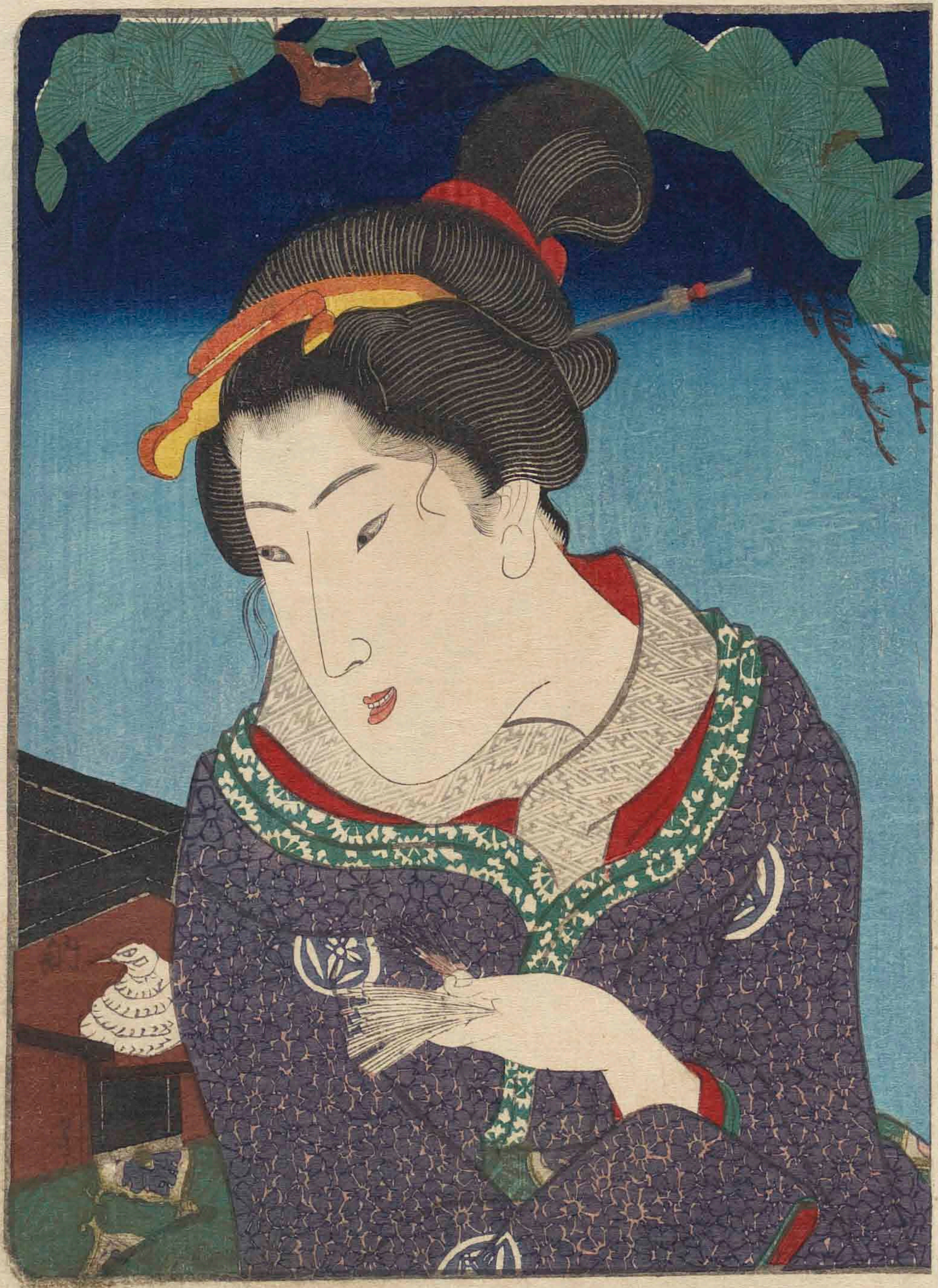


江戸

河津文庫

中巻







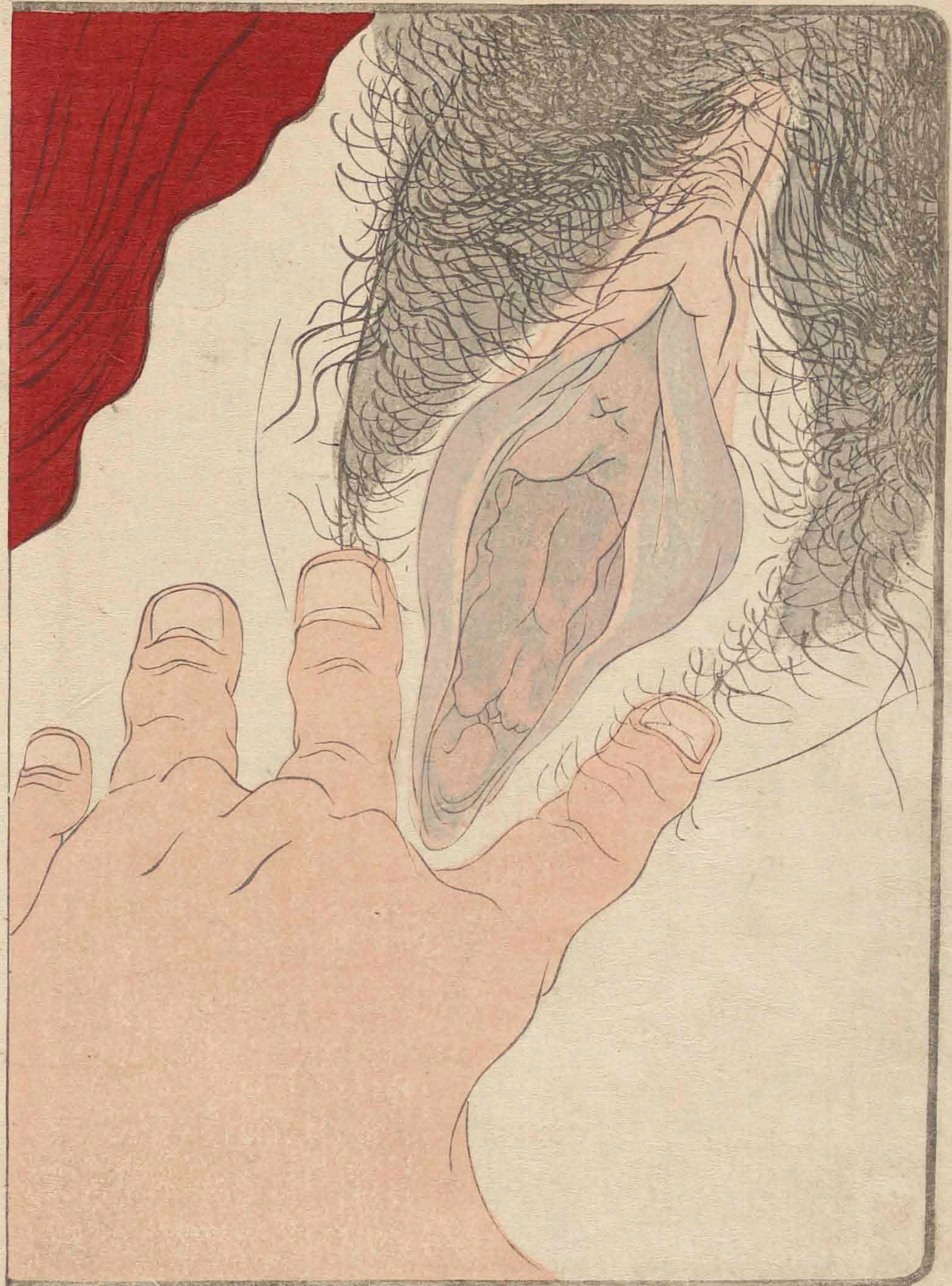












むかよひのしるしにて。是れはもつと
 けしめし。能く又と仕ふのしるしなり
 けしめししては。さんみんみう。自然
 と。なる事。いふは。代りて。できる。若
 し。や。行も。かん。せん。た。上。い。あ。ひ。の。振
 子。あり。や。い。は。ま。ま。か。る。は。び
 四。た。ご。ん。の。中。に。あ。る。は。ま。ま。を。
 ア。治。ま。る。病。氣。の。拙。陰。鉄。蓋。の。症。と。て。
 こ。し。の。し。る。し。な。り。と。ぞ。か。る。は。ま。ま。
 行。も。脚。と。し。た。幼。少。の。脚。の。み。ま。ま。

も人言く生かす家のなほいそひて
きしものさうじつたるのみがし
病するわまゝ小児の時乃病つて
この病はやくいふに世のつま
方のおぼの木のこゝろは世のつ
こゝろをいふに世のつま
らぬおぼの木のこゝろは世のつ
るに世のつまをいふに世のつ
やじせんやこゝろのちがひは
て女房こゝろをいふに世のつ

申く柔女のこゝろをいふに世のつ
美と世のつまをいふに世のつ
この病はやくいふに世のつ
あつちの女房をいふに世のつ
志あるに世のつまをいふに世のつ
はやくいふに世のつまをいふに世のつ
病するに世のつまをいふに世のつ
この病はやくいふに世のつ



江戸

吾妻物語

下巻















秋行方三牛



へ。お。ち。う。り。の。後。家。に。い。る。や。ま。の
 る。は。し。り。と。い。ふ。ま。ま。か。り。て。や。ま。の。際
 法。と。い。う。い。ち。ち。ん。な。に。お。た。い。ま
 り。り。こ。の。あ。い。と。い。は。ま。さ。ら。り。ま
 ら。い。一。お。り。ま。ま。い。て。ぬ。い。と。は。ま。あ
 を。ち。り。と。ま。ま。い。と。ま。ま。い。と。ま。ま。い
 り。ま。は。え。東。十。人。ち。あ。ま。い。と。い。あ。い
 ま。ま。い。と。い。ま。ま。い。と。い。ま。ま。い
 下。ち。う。り。の。あ。い。と。い。ま。ま。い。と。い
 た。ま。ま。い。と。い。ま。ま。い。と。い。ま。ま。い

